支部だより

会を誓ってお別れした。
翌日は、通信教育部校友会主催の山岳写真展を高知城ホールで鑑賞、月の名所の桂浜の散策、高知城の見学と各人13年ぶりの高知を楽しんだ。
（文責　土井　榮次）

北海道上川支部総会

平成28年度上川支部の総会は5月28日(土)、旭川市内ホテル「パコ」で開催。出席者は5名でした。支部長の挨拶から平成27年度の事業報告・会計決算報告・監査報告そして平成28年度の事業計画・予算案の協議。すべての案件、原案通り承認されました。
その後、懇親会に移り、通教本部の水道橋から市ヶ谷に移転、最近の各ブロックや支部の活動状況など話題になり、少子高齢化の進展に伴う社会情勢の変化など語らい、あとは自分達の現在の健康維持、増進にむけての取組みなど中心に情報交換に多くの時間を費やしました。楽しい会合となり、今後もこの親睦を更に深め会員の更なる参加を求める努力をし、次会の総会・懇親会で再会することを誓って散会となりました。
（文責　加藤　正之）

北海道石狩支部総会

平成28年度7月9日(土)、正午より、札幌グランドホテルに於て、18名の参加を頂き、石狩支部総会を開催致しました。
会は議長に吉田正さんが選出され、支部長の挨拶後、議案の27年度事業報告、決算報告、会計監査を終え、28年度事業計画、予算案、役員改選について協議されました。
全て原案通り、承認可決致しました。又、総会に出席できなかった会員の方へ、総会報告と名簿を送付しておりますが、今後は、個人情報保護の観点から、名簿には住所と電話番号は記載しない事を決定致しました。会の中で、活発な意見交換をする事ができて、会の活性化に繋がったことを確信致しました。
10月1日(土)、恒例の秋のレクリエーションで、恵庭市の『えこりん村』へ行って来ました。参加者8名で、電車に乗り、子供の頃を思い出しながらの、日帰り遠足でした。
えこりん村は、各テーマ毎に造られた素晴らしい数々の庭園があり、異国情緒あふれるテーマパークです。牧羊犬が実際に、羊達を誘導する様や、羊達のレース等を見る事もできます。又、1本の苗から何百個という果実を実らせている、世界一のトマトの木もありました。勿論、ランチには、そこで採れた野菜料理の数々を堪能し、地ビールも頂きました。
快晴にも恵まれ、有意義で親睦な一層深まった1日となりました。今後も多くの方々の参加を呼びかけ、会員相互の輪が広がり、校友会の発展を祈念致します。
（文責　作田　良子）

北海道後志支部総会

平成28年度北海道後志支部総会を7月22日(火)午前11時30分より余市町の『みどりや寿司』に於いて開催されました。多忙の中5名の出席をいただきました。
総会に先立ち、逝去された校友の冥福を祈り黙祷を捧げました。
奈良清一支部長の挨拶の後、支部長が司会を務め議事を進行しました。
平成27年度事業報告・監査報告並びに収支決算報告、平成28年度事業計画並びに予算案を提案し、全て原案通り承認されました。今年度は役員改選に当り全員再任されました。
総会終了後は、1年振りの再会を祝して、吉野之雄顧問が乾杯。近況や政治等について語り合い和やかな雰囲気のうちに楽しい一時を過ごしました。お互い元気で再会できることを願い、道議の市橋修治顧問の締めで散会しました。
（文責　須藤　克美）

秋田県支部総会

平成28年6月21日(火)午後2時30分より総会を、秋田駅前「どん扇谷トピコ店」で、川上哲也支部長、佐藤朋夫副支部長、岩野英雄副支部長、福田健一監事、佐々木寛副幹事長、佐藤昭一幹事、阿野幹事長の7名で和やかに元気に開催されました。
例年出席で、総会を元気にしてくれている小玉幸徳監事は、総会当日早朝から体調を崩されて欠席となりました。
尚、会計監査が午後2時からでしたが、福田健一監事、佐藤朋夫氏、阿野幹事長が横手からの電車中で監査を済ませました。
恒例の全員スピーチですが、トップバッターの佐藤昭一氏の秋田県枝豆出荷日本一（ご本人は、役所やめてから大規模に畑を求め、枝豆づくりの強力なメンバー。秋田市老人クラブ連合会会長等）などのスピーチに質問が殺到でした。…次に岩野英雄氏の介護談義、佐藤朋夫氏は、3月でやっと学校への関わりから離れたものの、湯沢雄勝校長会事務局長、地区老人クラブ事務局、町内会長等、社会活動に超多忙なようでした。スピーチはここで時間切れとなりました。
27年度は、繰越金が、二二九〇〇円あり、決算額が一三〇八四八円で、年会費二〇〇〇円の納付者が28名でした。（昨年度は36名）
秋田県支部交流会は、3年ぶりに「冬の交流会、16 in 由利本荘／伝統の奇祭・掛魚（かけよ）まつり&由利高原鉄道で行く天寿酒造見学etc」として、平成27年10月17日(土)～18日(日)に開催。
2組の夫婦と地元の堀井剛弘氏（由利本荘市西目町・昭和53年文学部卒）の5人でしたが、最高でした。堀江氏の英語堪能による、ご夫婦での海外旅行体験談は大変参考になりました。
28年度への予算額が一二四〇〇〇円です。
今年度は、第34回日大通教部校友会東北ブロック会秋田大会を10月16日(日)～17日(月)に、横手市山内のあいのの温泉鶴ケ池荘で開催するので、多くの会員に、この機会に校友会に関心と協力を求めることにしました。
秋田大会のご案内は、会員には、6月28日付けで、日大会報89号、総会報告及び秋田大会案内同封で郵送しました。日大通教本部他東北各県支部長、各ブロック会長、日大秋田県支部長にも既にご案内しました。
ことしも頑張ろうと誓い合いました。
（文責　阿野　広美）

岩手県支部総会

今年度の岩手県支部総会は、11月13日(日)午後3時から紫波グリーンホテルで開催され、参加者は昨年より1名増えて9名となりました。
最初に挨拶した菅原忠文支部長は、新しい顔ぶれも加わり出席者が増えたことを歓迎し、白戸忠志校友会長からいただいた資料をもとに通信教育部の様子を説明しました。
また、再来年には本県が東北ブロック総会の当番県となることを述べました。
次に藤井幹事長が経過報告をして議事に移りました。
議長には、箱石和彦幹事が選出され3件の議案が審議されました。第1号議案では、昨年度の事業と決算が承認されました。第2号議案では、今年度の事業計画と予算案が承認されました。意見としては、長年旅費等を出席者が負担をしてきたので、ある程度経費を使うようにとの発言があり了承されました。第3号議案では、その他として次年度の総会時期について6月から7月に実施することになりました。
また、役員の中で参加が難しい方もあり次年度役員改選で考慮することなどを決めました。この他の話題としては、名簿の整備が必要であり、とくに震災後沿岸部の方々に確認が必要であることが出されました。
引き続き行われた懇親会では、飲み放題コースを堪能しながら、今回も1人1人の近況報告と在学時代のそれぞれの貴重な話題に花が咲きました。
参加者は、宿泊と帰宅とありましたが、年1回のこの日を時間の許す限り飲んで語りあいました。
（文責　藤井　洋治）

山形県支部総会

今年度の支部総会は10月22日に日帰りの日程で将棋の駒で全国的に有名な天童市の天童温泉『天童ホテル』で開催し出席人数は会員が16名でした。
先般、秋田県で開催の東北ブロック会の席上で伝達を受けた白戸校友会長および関根通信教育部長のお2人からメッセージを拝受しておりましたので、それを当支部総会でも使わせていただき、校友会の実情や学校の方針などを伝達し共有したところです。
当支部では毎年の支部総会が活動の基幹であり総会に多数参加を得るために県内に広く開催地を替え日帰りで設定し新しい参加者を迎えたいと考え実行しております。しかし現役で働いている年代や女性の参加が少ない状況です。支部役員の交代も容易でないのは他支部と同様です。
校友会が会員にとって少しでも心のささえとなり豊かな人生に寄与できるように会員の絆を深めて行きたいと思います。
（文責　大塚　勝衛）

茨城県支部総会

平成28年度日本大学通信教育部校友会第31回茨城県支部「茨城桜友」総会関東ブロック総会を平成28年10月16日の午前11時から、ひたちなか市大平にあるホテルクリスタルパレスにおいて、本部の鈴木勝副会長と支部会員10人の参加を得て開催致しました。
大和田副支部長の開会の言葉に始まり、礒﨑支部長の挨拶、桜井幹事を議長に選出し議事に入りました。
第一議案の平成27年度事業報告（礒﨑支部長）、内容は主に関東ブロック総会、本部主催の第45回定期総会・懇親会様子、支部役員会の内容で主に今回の関東ブロック総会の計画が中心議題でした。
第二議案の平成27年度会計報告（薄田会計）が報告、繰越金が多いのは会費納入時期のずれとの関係で差があるとの説明がありました。
第三議案は会計が適正であることを認められている旨監査報告（菅原監事）あり、審議の結果満場一致承認されました。
第四議案では平成28年度事業計画（案）が礒﨑支部長より提案され承認され、総会は終了しました。
その後、午後からの予定している平成28年度日本大学通信教育部校友会関東ブロック総会の準備にあたりました。
（文責　礒﨑　強）